

共通テストのリーディングにおいて重要な文法事項は何か？

福井県立武生高等学校 探究文科3年

Abstract

Our question is "What is the most important grammatical item in the reading common test?" First we checked the TOEIC test results and found that Japanese people do indeed have poor English reading ability. From this, thinking about what high school students can do, we thought that the reading of the common test could be the subject of our research. So we analyzed the common tests and the center tests. We counted the number of classed grammatical items. After counting, we made graphs. We found that comparison is the most important grammatical item. The increase in "comparison" in the common test is due to the increase in questions that involve reading graphs and tables.

1 はじめに

(1) 先行調査

日本人の英語能力の現状を明らかにするためにTOIECの資料を用いて先行調査を行った(図1)。この結果より、日本は全ての技能において世界に比べ劣っていると判断した。特にリーディングは「書く・聞く・話す・読む」の4技能の中で得点率、順位ともに最も低かったため、本研究ではリーディングに着目した。

	満点	日本の得点	得点率	日本の順位/ 世界32カ国
Writing	200	133	67%	29/32
Listening	495	296	60%	27/32
Speaking	200	114	57%	27/32
Reading	495	236	48%	29/32

図1 TOIECにおける日本の4技能別スコア

(2) 目的

共通テストは令和3年から始まった新しい大学入試の制度である。この変化は多くの高校生にとって関心が高いはずだ。そこで高校生に身近な共通テストのリーディング問題を研究対象とし、高校生が共通テストに向けて効率的に勉強する方法を見つけるという目的のもと研究を行った。

2 問い

私たちの問いは、「共通テストのリーディングにおいて重要な文法事項は何か」である。

共通テストのリーディング問題を解く上で土台となるのは、単語力と文法事項を理解することだと考えた。しかし、単語力は単語帳を用いての独学が容易であるが、文法事項は単語とは異なり、効率よく習得することが難しいと考えたため、本研究では文法事項の理解力向上に焦点を置き、この問いを設定した。

3 研究(1)「共通テストとセンター試験で使われた文法事項の計測について」

ア 研究材料

- ・共通テストの過去問 大問2,6 2021年～2022年
- ・センター試験の過去問 大問4,6 2015年～2020年

過去二年分の共通テストを集めた。またセンター試験の傾向との違いも調べるために、センター試験の過去問6年分も集め、計8年分の過去問を材料として研究を行った。使用した大問は共通テストの場合は大問2と大問6である。センター試験の場合は大問4と大問6である。これらの大問はすべて長文の問題かつ得点配分が高かったため研究材料とした。

イ 研究方法

はじめに本文中にある解答の根拠となる文にマーカーを引く。この時、マーカーを引く基準とし東進衛星予備校の模範解答と解説を用いた。基本的に解説で取り上げられていた部分を分析した。次に、マーカーを引いた部分で使われている文法事項を分類した。文法事項は、DUALSCOPE Iの目次に記載されている、伝統的文法事項の「助動詞、受け身、完了、比較、動名詞、形式主語、同格、関係代名詞、関係副詞、不定詞、分詞、仮定」の12個である。これらを分類したあと、それぞれの数を数え、共通テストとセンター試験両方のデータ、共通テストのみのデータ、センター試験のみのデータの3つに分けてグラフ化し傾向を調べた。

4 研究(1)の結果

調査の結果、まとめたグラフは以下の3つである。

- ・共通テスト、センター試験の計8年分
- ・センター試験6年分のみ
- ・共通テスト2年分のみ

まず、共通テストとセンター試験を合わせたグラフ(図2)より、一番多く集計できたのは**不定詞**であった。その次に多かったのは**助動詞**であり、その後に**比較**であった。

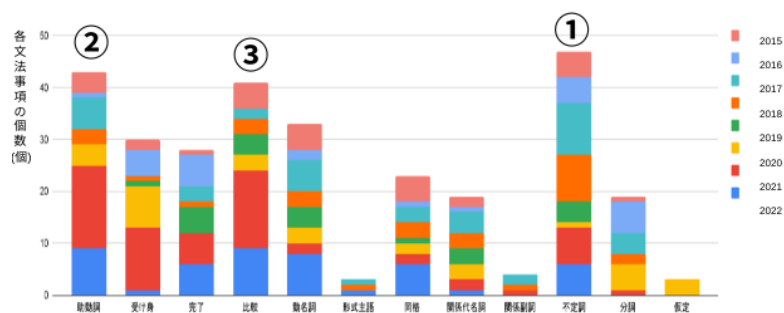


図2 センター試験6年分と共通テスト2年分の各文法事項の個数

続いて、センター試験6年分のみのグラフ（図3）である。結果、一番多く集計できたのは**不定詞**であった。

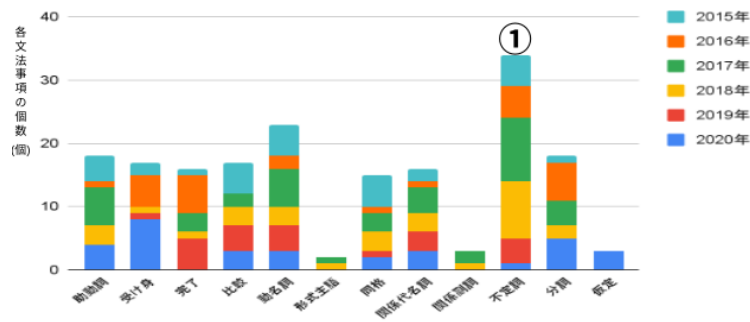


図3 センター試験6年分のみの各文法事項の個数

最後に、共通テスト2年分のみのグラフ（図4）である。結果、一番多く集計できたのは**助動詞**であった。次いで僅差で**比較**が続いた。

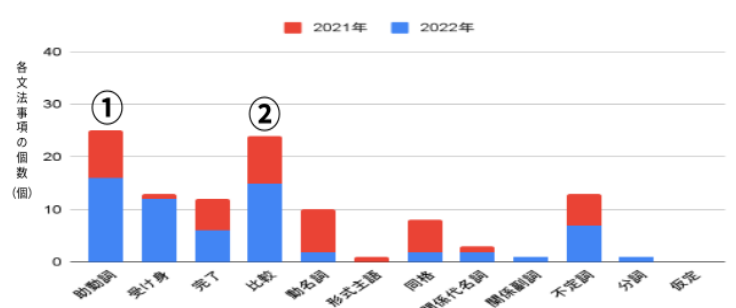


図4 共通テスト2年分のみの各文法事項の個数

この結果をまとめると、センター試験では**不定詞**が多かったのに対し、共通テストは**助動詞**、**比較**が多くなっていた。

5 研究(1)の考察

上記の結果から、なぜ比較と助動詞の表現が共通テストで増えたのかについて考えた。

まず、比較の表現は数値やデータなどを読み取る問題でよく使われているのではと考え、「共通テストで表やグラフの読み取りが増えたから比較の表現が増えた」という仮説を立てた。ここでは表を「事項を分類、整理しそれぞれを縦横に配列して示すもの※1」。グラフを「二つ以上の数量や関数の関係を図形に示したもの※2」とする。

次に、助動詞は法助動詞と呼ばれ、話し手の意思を表すものだということを知り、助動詞は会話文などで多く使われているのではないかと考えた。このことから「共通テストでメールや会話文の形式の問題が増えたため助動詞の表現が増えた」という仮説を立てた。

しかし、データを集めている時に、センター試験に比べて共通テストの方が、グラフや表を使った問題が多い印象を受けた。そのため今回はこの2つの仮説のうち、比較の仮説のみ調査を進めた。

6 研究(2)「グラフや表を用いた問題数について」

ア 研究材料

研究①と同様

- ・共通テストの過去問 大問2,6 2021年～2022年
- ・センター試験の過去問 大問4,6 2015年～2020年

イ 研究方法

まず、研究材料の中で出題されているグラフや表を使った問題の数を数えた。次に、数えた数値を共通テストとセンター試験とを分けて一年単位で平均した。最後に、平均した数値を比較しグラフや表を使った問題の数の変化を調べた。

7 研究(2)の結果と考察

	共通テスト			センター試験				
年	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015
個数	6	2	1	4	3	2	3	3

図5 共通テスト、センター試験における表やグラフを用いた問題数

この結果から各年のグラフや表を使った問題の数を平均するとセンター試験は約2個、共通テストは4個となり、約2倍に増えていることが分かった。

8 結論

本研究では、高校生が共通テストに向けて効率よく勉強できるようにするため、共通テスト及びセンター試験のリーディングで多く使われている文法事項を分析した。その結果、共通テストではグラフや表の読み取りが増加したため比較の表現が増えたことが明らかになった。よって共通テストのリーディングにおいて重要な文法事項は比較と言える。今後の課題としては助動詞がなぜ共通テストで増えたのかについての研究を進めることと、共通テストはまだ2年分しか調査できなかったためデータが少なく正確な数値とは言えない。よって、分析を継続してデータを増やしていこうと考えている。

それを踏まえた上で今後の研究における問いを設定するとしたら、「共通テストにおいて助動詞の役割はなにか」である。それに並行して共通テストの分析データも増やし、新しく発見する傾向等をふまえてより深く研究を行うことを今後の目標にしたい。

9 参考文献

※1 明鏡国語辞典引用

※2 広辞苑引用

- ・ IIBC 一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 (2021)
「2020年 TOEIC Speaking & Writing Tests 世界の受験者スコアとアンケート結果を発表」
<https://www.iibc-global.org/iibc/press/2021/p175.html> 2022年4月27日
- ・ 「2020 REPORT ON TEST TAKERS WORLDWIDE:TOEIC Listening and Reading Test」
https://www.iibc-global.org/library/default/toEIC/official_data/pdf/Worldwide2020.pdf
- ・ 東進 「共通テスト解答速報」 (2022)
<https://www.toshin.com/kyotsutest/2022/> 2022年9月28日
- ・ Z会 「共通テスト【英語】の設問別正答率」 (2021)
<https://www.zkai.co.jp/kyotsu-test/result/eigo-rate/> 2022年12月21日